

環境経営レポート

対象組織名：丸山グループ

丸山産業株式会社
関連事業所 本社・東京営業所・多摩営業所・前橋営業所
丸山化工株式会社
本社・東京事業所・前橋工場

対象期間 令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日

丸山産業株式会社・丸山化工株式会社
代表取締役社長
飯田 孝

《目次》

- | | |
|-------------------|-------|
| 1. 環境方針 | P-1・2 |
| 2. 事業活動の規模 | P-3 |
| 3. EA21推進体制 | P-4 |
| 4. 環境目標とその実績 | P-5・6 |
| 5. 環境活動の取組計画と評価 | P-7 |
| 6. 3年間中長期環境目標 | P-8 |
| 7. 環境関連法規制の遵守 | P-9 |
| 8. 代表者による全体評価と見直し | P-9 |

環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、地球環境を守り育て、明日を担う子供たちに胸を張って引継げるよう、すべての企業活動を環境に配慮して行います。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

- 1、当社の主力事業である、工業用ゴム製品の製造・販売・エンジニアプラスチックの素材販売・加工ベルト・ホース・コンベアー販売・省人化機器販売までの各領域において技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型の実現に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の削減に努めます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
 - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
 - ④物流省力化製品を販売を通して、省エネ化の貢献を図ります。
- 2、環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取り組み、策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
- 3、事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を厳守します。
- 4、環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識を図ります。
- 5、環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

2019年 8月 2日

丸山産業株式会社

代表取締役社長

飯田 孝

環境経営方針

〔基本理念〕

私たちは、地球環境を守り育て、明日を担う子供たちに胸を張って引継げるよう、
すべての企業活動を環境に配慮して行います。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取り組みます。

- 1、当社の主力事業である、工業用ゴム製品の製造・販売の領域において技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型の実現に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の削減に努めます。
 - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再使用の向上に努めます。
 - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
 - ④梱包資材の簡素化を徹底し、投入資源の削減に貢献します。
- 2、環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取り組み、策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
- 3、事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を厳守します。
- 4、環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識を図ります。
- 5、環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

2019年 8月 2日

丸山化工株式会社

代表取締役社長

飯田 孝

2. 事業活動の規模

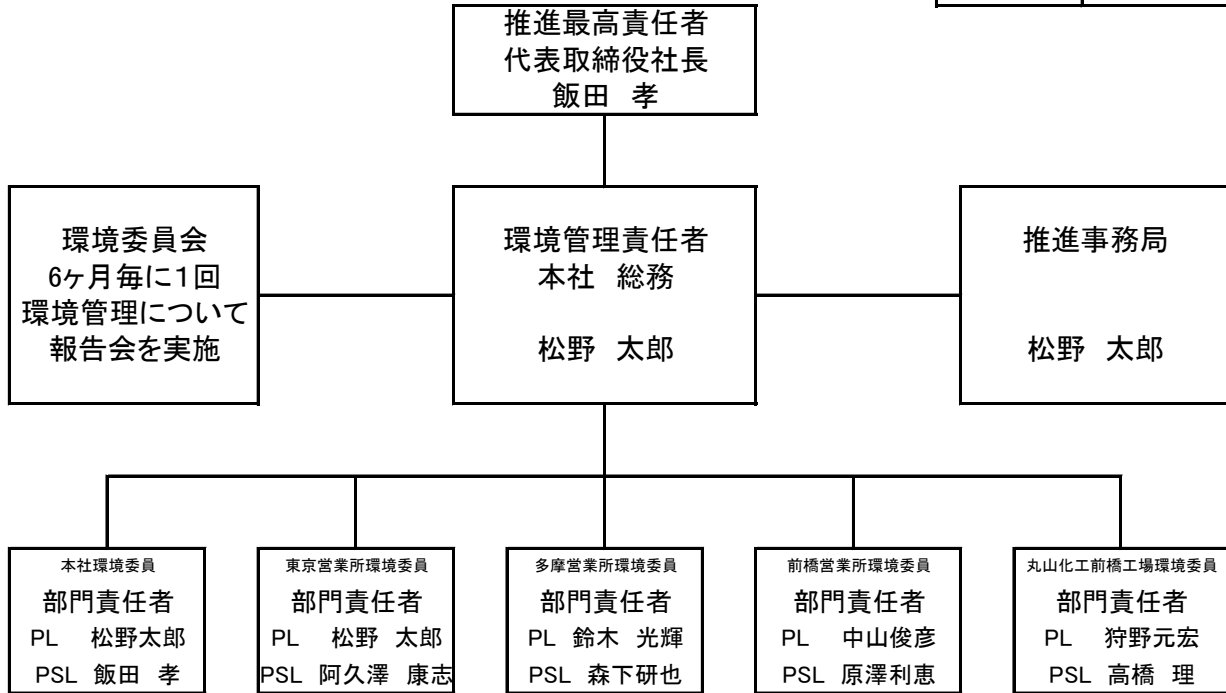
1. 事業所及び代表者名
丸山産業 株式会社
代表取締役社長 飯田 孝
2. 対象範囲 以下の全組織、全活動を対象範囲とする
丸山産業株式会社：本社・東京営業所・多摩営業所・前橋営業所
丸山化工株式会社：本社・東京事業所・前橋工場
3. 所在地
〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-14-14 (丸山産業(株)本社・東京営業所)
(丸山化工(株)本社・東京事業所)
〒198-0024 東京都青梅市新町4-8-9 (丸山産業(株)多摩営業所)
〒379-2111 群馬県前橋市飯土井町558-1 (丸山産業(株)前橋営業所)
〒379-2111 群馬県伊勢崎市市場町2-850-4 (丸山化工(株)前橋工場)
4. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
代表責任者 : 代表取締役社長 飯田 孝
環境管理責任者 : 取締役 土屋 光広
担当 : E A 2 1 事務局 松野 太郎
TEL : 03-3697-9248 (丸山産業(株)本社) 0428-78-0737 (丸山産業(株)多摩営業所)
03-3697-8306 (丸山産業(株)東京営業所) 027-268-4931 (丸山産業(株)前橋営業所)
03-3697-8308 (丸山化工(株)東京事業所) 0270-62-6595 (丸山化工(株)前橋工場)
FAX : 03-3697-8617 (丸山産業(株)本社) 0428-78-0738 (丸山産業(株)多摩営業所)
03-3694-6855 (丸山産業(株)東京営業所) 027-268-4930 (丸山産業(株)前橋営業所)
03-3697-8617 (丸山化工(株)東京事業所) 0270-63-0786 (丸山化工(株)前橋工場)
5. 事業の内容
丸山産業(株)：産業用製品の販売 丸山化工(株)：産業用製品製造
6. 事業規模

活動規模	単位		2023年度	2024年度
従業員数	人	丸山産業(株)本社・東京営業所	9	9
		丸山産業(株)多摩営業所	9	10
		丸山産業(株)前橋営業所	9	9
		丸山化工(株)本社・東京事業所	1	1
		丸山化工(株)前橋工場	8	8
敷地面積	m ²	丸山産業(株)本社・東京営業所	321.06	321.06
		丸山化工(株)本社・東京事業所		
		丸山産業(株)多摩営業所	314.00	314.00
		丸山産業(株)前橋営業所	671.07	671.07
		丸山化工(株)前橋工場	660.1	660.1

エコアクション21 推進体制組織図

作成日 令和4年9月25日

承認	点検
飯田	松野



職名	役割
最高責任者 代表取締役社長 飯田 孝	<ul style="list-style-type: none"> ① 推進事務局及び環境委員会をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・技術・技能を含む)を準備する。 ③ 環境方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じて改訂を指示する。
環境管理責任者 松野 太郎	<ul style="list-style-type: none"> ① エコアクション21に関する経営資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築を運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局 松野 太郎	<ul style="list-style-type: none"> ① 事務局として、環境責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	<ul style="list-style-type: none"> ① 最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、3ヶ月に1回環境管理責任者が招集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めたものは出席することができる。

4. 環境目標とその実績(1)

当社に於ける2022年度の環境負荷実績を把握し、2023年度～2024年度の目標を下記の通り定めました。
 購入電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー2018年度の0.462kg-CO₂/Kwhを用いています。
 (丸山化工(株)本社・東京事業所の数値は丸山産業(株)本社・東京営業所の数値に含まれています。)

環境経営項目	2021年度実績		2022年度基準値		2023年度目標		2024年度目標		環境活動計画実施事項	対象事業所
	丸山産業(株)	丸山化工(株)	丸山産業(株)	丸山化工(株)	丸山産業(株)	丸山化工(株)	丸山産業(株)	丸山化工(株)		
売上高100万円あたりの二酸化炭素排出量に対する削減	204.35	670.36	225.04	635.45	222.79	629.1	222.79	629.1	①空調温度適正化・表示(夏28℃冬23℃)	全事業所共通
									②照明・PC電源不要時のOFFの推進	全事業所共通
									③エアコン清掃の実施	全事業所共通
									④エコドライブ推進	全事業所共通
									⑤電力、ガソリン量の集計	全事業所共通
									⑥スポットエアコン有効利用	丸山化工(株)
									⑦材料倉庫空調設備2台→1台	丸山化工(株)
									⑧カレンダータイムセット時間の短縮	丸山化工(株)
									⑨管理項目の評価と削減方法の検討	全事業所共通
売上高100万円あたりの廃棄物に対する削減	2.42	22.72	2.02	31.34	2	31.03	2	31.03	①廃棄物分別の徹底化	全事業所共通
									②廃棄物置場の点検	全事業所共通
									③排出業者との契約書の確認	全事業所共通
									④マニフェストの管理方法の確立	全事業所共通
									⑤古紙再利用の推進(裏紙有効利用)	全事業所共通
									⑥バリ/不良品の低減	丸山化工(株)
									⑦材料費の低減	丸山化工(株)
									⑧ロビ-ミスの低減(特にカラー)	丸山化工(株)
									⑨移動票サイズ縮小化の検討	丸山化工(株)
									⑩管理項目の評価と削減方法の検討	全事業所共通
丸山産業(株)	282	4.16	282	3.57	279.18	3.53	279.18	3.53	①水道メータを確認する(漏水防止)	全事業所共通
水資源投入量の削減									全事業所共通	
丸山化工(株)									③節水コマの設置	全事業所共通
売上高100万円あたりの水資源投入量に対する削減									④トイレの節水	全事業所共通
									⑤ロール水量調節バルブの設置	全事業所共通
									⑥管理項目の評価と削減方法の検討	全事業所共通
	製品及びサービスに関する項目	305	-	丸山産業 物流省力化製品製品販売実績の把握				丸山化工 梱包形態の簡素化	①環境配慮商品を考慮し物品購入を心がける	全事業所共通
化学物質使用量に対する削減	-	-	-	-	-	-	-	-	②顧客からの環境情報収集の定着化	全事業所共通
									③物流省力化商品の販売額の把握	東京営業所・多摩営業所
									④製品梱包形態の簡素化(無梱包化)	前橋営業所・丸山化工(株)
									①化学物質の管理の徹底	前橋工場
②排油の管理の徹底	前橋工場									

製品及びサービスに関する項目及び化学物質使用量に対する削減に関しては数値目標は設けていませんが、各事業所において活動計画は実施しています。
 化学物質に関しては、製品の仕様または品質上から化学物質の使用量等が決められているため削減目標ではなく適正管理の徹底としています。

4. 環境目標とその実績(2)

当社に於ける2022年度の環境負荷実績を把握し、2024年度目標を下記の通り定め集計した実績になります。
購入電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー2018年度の0.462kg-CO2/Kwhを用いています。
(丸山化工(株)本社・東京事業所の数値は丸山産業(株)本社・東京営業所の数値に含まれています。)

環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	目標 2022年度 実績に 対して1%減	過去実績数値			基準値	目標 2022年度 実績に 対して1%減
	2021年度	2022年度	2023年度			2022年度	2024年度	2021年度		
売上高100万円あたりの二酸化炭素排出量に対する削減【kg/売上高百万】	204.35	225.04	196.98	225.04	目標 222.79 実績 173.22 23.03%	670.4	635.45	513.27	635.45	目標 629.10 実績 474.26 25.37%
二酸化炭素総排出量	209,867	221,244	222,394	221,244	216,703	61,672	61,638	58,000	61,638	56,911
環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	目標 2022年度 実績に 対して1%減	過去実績数値			基準値	目標 2022年度 実績に 対して1%減
	2021年度	2022年度	2023年度			2022年度	2024年度	2021年度		
売上高100万円あたりの廃棄物に対する削減【kg/売上高百万】	2.42	2.02	1.67	2.02	目標 2 実績 3.48 -72.28%	22.72	31.34	23.65	31.34	目標 31.03 実績 5.92 81.11%
廃棄物総排出量	2,487	1,987	1,887	1,987	4,359	2,090	3,040	2,642	3,040	710
環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	目標 2022年度 実績に 対して1%減	過去実績数値			基準値	目標 2022年度 実績に 対して1%減
	2021年度	2022年度	2023年度			2022年度	2024年度	2021年度		
丸山産業(株)水資源投入量の削減					目標 279.18					目標 3.53
丸山化工(株)売上高100万円当たりの水資源投入量に対する削減【m ³ /売上高百万】	282	282	280	282	実績 287 -1.77%	4.16	3.57	2.32	3.57	実績 2.28 36.13%
水資源総投入量	282	282	282	282	287	383	343	262	343	274
環境目標項目	丸山産業株式会社					丸山化工株式会社				
	過去実績数値			基準値	実績	過去実績数値			基準値	実績
	2021年度	2022年度	2023年度			2022年度	2024年度	2021年度		
製品及びサービスに関する項目単位【百万円】	305	238	343	238	406	梱包の簡素化 通い箱の利用、段ボール再利用の取り組みにより、 資源削減に貢献				

製品及びサービスに関する項目及び化学物質使用量に対する削減に関しては数値目標は設けていませんが、各事業所において活動計画は実施しています。
化学物質に関しては、製品の仕様または品質上から化学物質の使用量等が決められているため削減目標ではなく適正管理の徹底としています。

5. 環境活動計画の取組みと評価

丸山産業㈱

*2024年度（2024年4月～2025年3月）の活動の取組みと評価をしております。

活動計画	目標	目標の達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価	次年度取組
1 二酸化炭素 排出量の削減	2022年度 実績に 対して 1%減	23.03% 減 ○	目標達成。 エネルギー各種のは排出量自体が削減され、売上高も上がったことにより目標達成。	東京空調関連改善 売上高UP
2 廃棄物 排出量の 削減	2022年度 実績に 対して 1%減	-72.28% 増 ▲	目標未達成。 前橋営業所倉庫にベルト加工作業場所を設置するにあたり、倉庫不用品等を産廃に出したため排出量が大幅にあがっている。それ以外の排出は抑えられていることから問題なし。	昨年同様、産業廃棄物をおさえながらも工事物件の売上を増やすことを考える。
3 水資源 投入量の 削減	2022年度 実績に 対して 1%減	-1.77% 増 △	目標未達成。 総投入量は増えてしまっているが、多摩営業所人員増による分と捉えているため問題なし。	現状通り、水漏れに注意しつつ、投入量が増えないように環境活動を継続する
4 製品及びサービスに関する項目	2022年度 実績 238百万円	2024年度 実績 406百万円	製品およびサービスに関する項目においては昨年の設備投資を抑える傾向から脱却しつつあり売上高も増えている。	昨年同様、物流省力化商品の販売を推進できるように環境活動を継続する 昨年同様、物流省力化商品の販売を推進できるように環境活動を継続する 昨年同様、物流省力化商品の販売を推進できるように環境活動を継続する 昨年同様、物流省力化商品の販売を推進できるように環境活動を継続する

丸山化工㈱

*2024年度（2024年4月～2025年3月）の活動の取組みと評価をしております。

活動計画	目標	目標の達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価	次年度取組
1 二酸化炭素 排出量の削減	2022年度 実績に 対して 1%減	25.37% 減 ○	目標達成。 排出総量も減ってかつ売上が上がったため目標達成。 製品単価見直しの効果もあると思われる。	LED化 活動継続
2 廃棄物 排出量の 削減	2022年度 実績に 対して 1%減	81.11% 減 ○	目標達成。 本年度は産廃として排出しておらず大幅減。	現在の活動を継続。
3 水資源 投入量の 削減	2022年度 実績に 対して 1%減	2.28% 減 ○	目標達成。 投入量は上がっているものの、売上高が上がったため目標達成	ロール機の稼働状況も見極めること。
4 製品及びサービスに関する項目	-	-	梱包の簡素化はよく出来ている。 通い箱の利用、段ボール再利用の取り組みにより、資源削減に貢献。	現状通り、梱包の簡素化に取り組む
5 化学物質使用量 に対する削減			漏えい防止措置及び緊急事態訓練の実施。 化学物質購入量の確認を行っている。	現状通り、使用量の確認、緊急事態訓練を行う

*丸山化工㈱東京本社・東京事業所の各数値は、丸山産業㈱本社・東京営業所の数値に含まれていません。

6. 3年間中長期環境目標

当社に於ける2024年度の環境負荷実績を把握し、2027年度までの目標を下記の通り定めます。
 購入電力の二酸化炭素排出係数は東京電力エナジーパートナー2018年度の0.462kg-CO₂/Kwhを用いています。
 (丸山化工(株)本社・東京事業所の数値は丸山産業(株)本社・東京営業所の数値に含まれています。)

環境目標項目	丸山産業株式会社				丸山化工株式会社			
	実績 基準値	3年間目標			実績 基準値	3年間目標		
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
基準値に対する目標	基準値	0.3%減	0.6%減	1%減	基準値	0.3%減	0.6%減	1%減
売上高100万円あたりの二酸化炭素排出量に対する削減【kg/売上高百万】	173.22	172.70	172.18	171.49	629.10	627.21	625.33	622.81
環境目標項目	丸山産業株式会社				丸山化工株式会社			
	実績 基準値	3年間目標			実績 基準値	3年間目標		
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
基準値に対する目標	基準値	0.3%減	0.6%減	1%減	基準値	0.3%減	0.6%減	1%減
売上高100万円あたりの廃棄物に対する削減【kg/売上高百万】	3.48	3.47	3.46	3.45	31.03	30.94	30.84	30.72
環境目標項目	丸山産業株式会社				丸山化工株式会社			
	実績 基準値	3年間目標			実績 基準値	3年間目標		
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
基準値に対する目標	基準値	0.3%減	0.6%減	1%減	基準値	0.3%減	0.6%減	1%減
丸山産業(株) 水資源投入量の削減	279	278.16	277.33	276.21	3.53	3.52	3.51	3.49
丸山化工(株)								
売上高100万円当たりの水資源投入量に対する削減【m ³ /売上高百万】								
環境目標項目	丸山産業株式会社				丸山化工株式会社			
	実績 基準値	3年間目標			実績 基準値	3年間目標		
	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
製品及びサービスに関する項目 単位【百万円】	406	-	-	-	製造ロス率の低減2025年度より数値確認実施			

製品及びサービスに関する項目及び化学物質使用量に対する削減に関しては数値目標は設けていませんが、各事業所において活動計画は実施しています。
 製造ゴム製品の仕様または品質上から化学物質の使用量等が決められているので、化学物質に関しては削減目標ではなく適正管理の徹底としています。

7. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	当社の取り組み	遵守状況	対象
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	規制地域ではないので、現在のところ該当しないが、東京、多摩は東京都の条例を遵守	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
下水道法	排出基準の遵守	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	委託契約・マニフェスト管理・交付状況等報告書の提出	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
消防法	消防用設備の管理	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	遵法	丸山産業㈱・丸山化工㈱
水質汚濁防止法	排水分析の実施	遵法	丸山化工㈱
浄化槽法	11条検査の実施	遵法	丸山化工㈱
振動規制法	設置・変更の届出	遵法	丸山化工㈱
悪臭防止法	規制基準の遵守	遵法	丸山化工㈱
労働安全衛生法	作業環境測定の実施	遵法	丸山化工㈱
化学物質排出把握管理促進法(PRTR制度)	対象物質の使用量の把握	遵法	丸山化工㈱
群馬県の生活環境を保全する条例	設置・変更の届出	遵法	丸山化工㈱

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規は、2025年3月までの確認をし、遵守しています。

関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

8. 代表者による全体評価と見直し

総括：

通年の課題になるが、従業員の育成が課題。

昨年同様に引き続き売上高を改善していくこと、新しい営業方法の模索、人材育成が必要eラーニングなどを活用していく。

エネルギー資源の高騰、材料費の高騰も踏まえ、エコアクションの取り組みは、社内コストの見直しにもつながることなので人材教育をすすめていく。

丸山化工のLED化で省電力効果を確認すること。